

# 2014年度自己点検・評価報告書(シート)

## 【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

### 《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

### I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	社会学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

### II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

#### 《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. スタディスキル、社会学のコアとなる知識・能力、領域横断的な知識・能力を柱とする学位授与方針を明確化する	→学位授与方針の明確化と公表	B	A	A	A	A
2. 継続的演習教育、体系的で幅広い講義科目などを柱とする教育課程の編成・実施方針を明確化する	→教育課程の編成・実施方針の明確化と公表	B	B	A	A	A
3. 学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を内外に周知・公表する	→教務心得、履修心得、学部HP、大学案内、学部広報誌などの広報媒体において、正しくかつ効果的に広報されているかどうかの確認	B	B	B	A	A
4. 学位授与方針、教育課程の編成・実施方針の適切性について、定期的検証(毎年)を行い、必要な改善を行う	→定期的検証(毎年)の結果と改善内容の公表	B	B	B	A	A

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

## 《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか カリキュラム検討委員会および学部長室委員会をへて教授会において承認された学位授与方針について、各種のメディアにて公表している。また、毎年度末の教授会において、学位授与方針を検証している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か すでに目標を達成している	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 2016年度から新課程をスタートさせる。	☆
		その他	☆
			☆
目標2	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか カリキュラム検討委員会および学部長室委員会をへて教授会において承認された教育課程の編成・実施方針について、各種のメディアにて公表している。また、毎年度末の教授会において、教育課程の編成・実施方針について検証している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か すでに目標を達成している	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 2016年度から新課程をスタートさせる。	☆
		その他	☆
			☆
目標3	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 学位授与方針および教育課程の編成実施方針は、教員用心得、学生用履修心得に明示し、この度ホームページにも掲載されることになった。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 新入生向けガイダンスで明確な説明ができるようになった。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 2016年度からの新課程でも継続させる。	☆
		その他	☆
			☆
目標4	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 教育目標に基づいた学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性については、年度末の教授会、自己評価委員会で検証している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 入試関連業務から受験生、高校教員(進路担当)に伝わっていることが窺える。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 2016年度からの新課程でも継続させる。	☆
		その他	☆
			☆
備考			☆